



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 株式会社 魚力
 コード番号 7596 URL <http://www.uoriki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 雅之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 尾後貴 隆
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 042-525-5600

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,280	3.9	265	35.7	314	21.3	228	43.4
2019年3月期第1四半期	7,005	7.2	195	22.3	259	51.2	403	214.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 199百万円 (53.5%) 2019年3月期第1四半期 427百万円 (139.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	16.61	
2019年3月期第1四半期	29.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	17,114	14,316	83.6	1,040.09
2019年3月期	17,434	14,364	82.3	1,043.84

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 14,303百万円 2019年3月期 14,354百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		18.00		18.00	36.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		18.00		18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,500	6.3	300	17.8	400	32.7	280	53.0	20.36
通期	30,800	5.5	1,050	6.6	1,200	18.9	780	27.5	56.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	14,620,000 株	2019年3月期	14,620,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	868,063 株	2019年3月期	868,063 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	13,751,937 株	2019年3月期1Q	13,751,937 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、概して手元キャッシュ・フローが潤沢な企業による設備投資を牽引役として緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、直近では、米国との貿易摩擦の影響を受ける中国をはじめとする海外経済の減速から輸出が弱含んでおります。この他、朝鮮半島・中東などにおける地政学リスク、欧米の政治的な混乱、また、人手不足の深刻化による一部業種における供給制約の発生といった要因による景気下振れリスクが強く懸念される状況であります。

加えて、雇用情勢の改善は継続しているものの、個人所得の伸びは引き続き企業業績の拡大に比して力強さを欠くことなどから消費者心理の悪化が続く中、消費税率の引き上げやいわゆる冷夏が消費に与える影響も懸念されます。とりわけ生鮮食品をはじめ食品全般の低価格志向や日常的支出における節約志向は依然として根強いものがあります。

一方、水産業界におきましては、国内での魚離れの進行、多くの大衆魚の不漁、海外における魚食の拡大による仕入価格の上昇など、当社を取り巻く経営環境は厳しさを増しております。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、中期経営計画(2018-2020年度)の下、「現場の活性化・従業員満足の上昇」をめざし、営業・仕入、新規事業、人材、財務といった各事業分野における基本戦略に取り組んでまいりました。

この間、小売事業で1店舗を出店し、当第1四半期連結累計期間末の営業店舗数は90店舗となりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は72億80百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益は2億65百万円(前年同期比35.7%増)、経常利益は3億14百万円(前年同期比21.3%増)となりました。

一方、前年同期において旧本社土地に関する固定資産売却益を計上した影響により、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億28百万円(前年同期比43.4%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①小売事業

小売事業では、各地の漁港と連携した「産地直送フェア」などのイベントにより販売促進を図るなど、仕入・営業が緊密に連携し全店を挙げて拡販に取り組みました。一方、前述の通り経営環境は厳しさを増し、また、関東地方において4月に強い寒の戻りが見られた反面、5月下旬に真夏日が連続するなど天候の悪影響を受ける局面がありました。この結果、当第1四半期連結累計期間における既存店舗の売上高は対前年同期比98.8%となりました。

他方、前期から本格的に進めている筋肉体質の店舗網の構築に向けた取り組みが効果を発揮しはじめるなど販管費率が引き下げられました。

新店は、2019年5月にJR竜王駅付近、国道20号線沿いの「アマノパークス甲府バイパス店」内に「甲斐竜王店」(山梨県甲斐市)を開店しております。

この結果、売上高は66億36百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益は2億80百万円(前年同期比23.0%増)となりました。

②飲食事業

飲食事業では、前期において、限られた経営資源の効率的な活用を図るため、また、契約満了に伴い3店舗を退店する一方、新業態「魚力食堂」を含む2店舗を開店しておりますところ、低価格志向の新業態店や競合店の参入など厳しい環境の中、前年度に出店した新店を含め、効率的な店舗運営に努めました。今後は、新業態「魚力食堂」の展開を図る考えであります。

この結果、売上高は1億82百万円(前年同期比18.8%減)、営業損失は0百万円(前年同期は営業利益2百万円)となりました。

③卸売事業

卸売事業では、他社との競合により取引環境が厳しさを増す中、前期において、子会社の魚力商事株式会社が外食チェーンを中心とした取引先に加え、当社が行っていた国内スーパーマーケットへの卸売を担うよう営業体制を集約いたしました。このような中、国内外にわたり新規・既存取引先への営業強化を図っております。

この結果、売上高は4億45百万円(前年同期比35.4%増)、営業利益は13百万円(前年同期は営業利益1百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は92億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億34百万円増加いたしました。これは主にその他に含まれる未収入金が11億70百万円減少したものの、現金及び預金が19億2百万円増加したことによるものであります。固定資産は78億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億54百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が10億35百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は171億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億20百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は27億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億59百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1億73百万円、その他に含まれる未払金が1億24百万円減少したことによるものであります。固定負債は24百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円減少いたしました。これは退職給付に係る負債が11百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は27億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億71百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は143億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ48百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が26百万円、利益剰余金が19百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は83.6%（前連結会計年度末は82.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において2019年5月8日の「2019年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,688,317	6,590,875
受取手形及び売掛金	2,382,177	2,306,006
商品及び製品	197,728	252,996
原材料及び貯蔵品	8,877	8,555
その他	1,242,704	95,530
流動資産合計	8,519,804	9,253,964
固定資産		
有形固定資産	1,335,665	1,326,664
無形固定資産	25,230	24,318
投資その他の資産		
投資有価証券	5,899,539	4,864,415
その他	1,654,655	1,645,514
投資その他の資産合計	7,554,194	6,509,930
固定資産合計	8,915,090	7,860,913
資産合計	17,434,895	17,114,878
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,281,714	1,108,270
未払法人税等	253,147	148,153
賞与引当金	157,280	239,667
その他	1,342,150	1,278,575
流動負債合計	3,034,293	2,774,666
固定負債		
退職給付に係る負債	11,925	-
その他	24,000	24,000
固定負債合計	35,925	24,000
負債合計	3,070,218	2,798,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,563,620	1,563,620
資本剰余金	1,446,652	1,446,652
利益剰余金	12,483,093	12,463,960
自己株式	△1,251,503	△1,251,503
株主資本合計	14,241,862	14,222,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80,603	53,672
為替換算調整勘定	1,281	△2,414
退職給付に係る調整累計額	31,039	29,277
その他の包括利益累計額合計	112,923	80,535
非支配株主持分	9,890	12,947
純資産合計	14,364,676	14,316,211
負債純資産合計	17,434,895	17,114,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	7,005,043	7,280,185
売上原価	4,202,125	4,370,550
売上総利益	2,802,918	2,909,634
販売費及び一般管理費	2,607,034	2,643,877
営業利益	195,883	265,757
営業外収益		
受取利息	668	10,120
受取配当金	22,826	34,188
持分法による投資利益	—	8,620
為替差益	29,615	—
その他	12,370	3,414
営業外収益合計	65,480	56,343
営業外費用		
支払利息	—	35
保険解約損	1,702	—
為替差損	—	7,191
営業外費用合計	1,702	7,226
経常利益	259,661	314,874
特別利益		
固定資産売却益	341,556	—
投資有価証券売却益	—	65,834
特別利益合計	341,556	65,834
特別損失		
固定資産除却損	4,201	2,466
投資有価証券償還損	—	7,291
特別損失合計	4,201	9,758
税金等調整前四半期純利益	597,016	370,951
法人税、住民税及び事業税	112,786	125,841
法人税等調整額	80,472	13,651
法人税等合計	193,259	139,492
四半期純利益	403,757	231,458
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	3,056
親会社株主に帰属する四半期純利益	403,757	228,401

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	403,757	231,458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,379	△26,931
為替換算調整勘定	—	△1,530
退職給付に係る調整額	△9,316	△1,762
持分法適用会社に対する持分相当額	△26,134	△2,164
その他の包括利益合計	23,928	△32,388
四半期包括利益	427,685	199,069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	427,685	196,012
非支配株主に係る四半期包括利益	—	3,056

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,435,143	225,257	328,628	6,989,029	16,014	7,005,043	—	7,005,043
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	96,162	96,162	4,650	100,812	△100,812	—
計	6,435,143	225,257	424,791	7,085,192	20,664	7,105,856	△100,812	7,005,043
セグメント利益	228,130	2,982	1,192	232,304	6,361	238,666	△42,782	195,883

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。
 2. セグメント利益の調整額△42,782千円には、セグメント間取引消去△4,689千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△38,093千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,636,096	182,997	445,082	7,264,176	16,008	7,280,185	—	7,280,185
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	41,928	41,928	4,650	46,578	△46,578	—
計	6,636,096	182,997	487,010	7,306,105	20,658	7,326,764	△46,578	7,280,185
セグメント利益又は損失(△)	280,675	△296	13,228	293,607	8,640	302,247	△36,489	265,757

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△36,489千円には、セグメント間取引消去△4,555千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△31,933千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。